

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/2～12/6

・12/2(月)

桜を見る会、COP25、福島第一原発などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

・12/3(火)

桜を見る会、アメリカ大統領選挙、グretaさんポルトガルに到着、米朝関係などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

・12/4(水)

桜を見る会、日米貿易協定、在日米軍駐留費、アメリカ議会のウイグル人権法案などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、日米貿易協定については問題と考えられるものでした。また、桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・12/5(木)

「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、経済対策などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑については検証者の所感を記しました。

・12/6(金)

「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、議員歳費、野党再編などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また議員歳費については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月2日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、COP25、福島第一原発		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会 ・島根県小4男児死亡事件 ・新井浩文被告に懲役5年 ・埼玉県いじめ裁判 ・今年の新語流行語大賞 ・COP25 ・福島第一原発 ・東久留米男性殺害事件で同居女性の息子を逮捕 ・神奈川県で二歳女兒がマンションで転落死 ・大阪の7年前の通り魔事件で最高裁は上告を退ける ・スポーツ報道 ・【異論反論】#脱はんこ社会 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「そして、まずはこちらです、桜を見る会をめぐる国会答弁、安倍総理が久々に答弁に立ちました。」とのコメントの後に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>田村智子（共産党参院議員）「ケータリング、2136万円、これだけで桜を見る会の全体の予算1776万円を大きく超えています。」</p> <p>ナレ「飲食費だけで予算をオーバーする2000万円余が使われているという指摘、安倍総理の予算委員会出席を自民党が拒み続ける中開かれた今日の参議院本会議は桜を見る会一色となりました。」</p> <p>田村智子「税金を使った公的行事なんですよ、これ説明できなきゃおかしいですよ。」</p> <p>ナレ「この国会の予算委員会で一連の問題を最初に安倍総理に突きつけた共産党の田村議員。今日は公職選挙法が禁じる事実上の買収行為ではないかと追及しました。」</p> <p>田村智子「桜を見る会は招待がなければ参加できません、無料で飲食物が提供されお土産が配られる、このような場に総理の選挙区を始め、自民党の後援会を大勢招待するその目的、意図は何でしょうか。」</p> <p>ナレ「公職選挙法は選挙に当選させるための目的を持って有権者に対し、金銭や物品を供与することや飲食を伴う接待をいわゆる買収罪として禁止しています。選挙区の人たちに桜を見る会で飲食を提供することは選挙の当選を目的とする有権者への接待に該当するのでしょうか。選挙の当選を目的としているかという点について田村議員は安倍総理のこの発言に注目しました。」</p>		

"記者「自分は安倍総理の選挙からその貢献で選ばれたのだと思っている方がいるということですからけれども。」

安倍総理「まあ確かにそう思われている方もおられると思います、そういう観点からやはり推薦する上において知ってる範囲で推薦することになるんだろう、と思います。」

田村智子「自民党の選挙への貢献に感謝し、次の選挙でも支持を広げてくれることを期待し、後援会の招待を拡大してきたではありませんか、公職選挙法は自らの当選だけでなく第三者に当選を得させようとして金銭、物品、その他の供与、供応接待をすることを買収行為として禁じています。総理、桜を見る会であなたと自民党がやってきたことはまさに税金を使った事実上の買収行為ではありませんか。」

ナレ「この指摘に安倍総理はどう応えたのでしょうか。」

ナレ「功労功績のあった人が招待される桜を見る会に地元の有権者を招待したことは公職選挙法で禁じられている買収ではないか、こうした野党の追求に対し、安倍総理は。」

安倍総理「私自身も事務所からの相談を受ければ推薦者についての意見を言うこともありました、実際の事務所における推薦作業の詳細は承知しておりません、いずれにしても招待者は提出された推薦者に付き、最終的に内閣官房及び内閣府において取りまとめを行っていることであり公職選挙法に抵触するのではないかと、というご指摘には当たりません。」

ナレ「総理は最終的に招待者は内閣官房、内閣府が取りまとめると従来の答弁を繰り返し、公選法には抵触しない、と強調しました。マルチ商法で経営破綻したジャパンライフの山口元会長が桜を見る会に招待された問題についても野党側から質問が相次ぎました。」

吉田忠智（社民党参院議員）「安倍総理、昭恵夫人はこのジャパンライフの山口元代表と面識がお有りでしょうか、明確にご答弁ください。」

ナレ「元会長の受付票に記された 60 番という数字、内閣府の資料から元会長が総理の推薦枠で招待された疑いが浮上しています。」

安倍総理「ご指摘の山口会長については過去において私が招待された多人数の会合等の場で同席していた可能性までは否定しませんが、山口と一対一のような形でお会いしたことはなく、個人的な関係は一切ありません、また、私の妻は山口との、山口氏との面識はありません。」

ナレ「また、元会長への招待状を顧客の勧誘などに利用していたとの指摘に対しては。」

安倍総理「一般論として申し上げれば、桜を見る会が企業や個人の違法、不当な活動に利用されることは決して容認できません。」

ナレ「野党側が最も注目しているのは法律に基づき桜を見る会終了後に遅滞なく破棄したとされる招待者名簿です。」

吉田忠智「復元には様々な手法があるとされています、どの手法でも復元できないとする理由は何でしょう。」

安倍総理「内閣府が採用しているシステムはこの端末ではなく、サーバーでデータを保存するシンクライアント方式であり、端末にデータは保存されておらず、また、サーバーのデータを破棄後バックアップデータの保管期間を経た後は復元は不可能であるとの報告を受けております。」

ナレ「バックアップデータは一定の保存期間をすぎると復元できなくなるとの答弁を繰り返した安倍総理、その上で保存期間の見直しを検討する考えを示しました、今国会での答弁は今日が最後になるかもしれない安倍総理、野党側は予算委員会の手の中審議で安倍総理を迫りたい考えですが。」

自民党中堅議員「早く国会を閉じて桜の追及をさせないようにしないと。追及が続けばどんどん支持率が下がってしまう。」

蓮舫（立憲民主党副代表）「安倍総理は口だけいいことを言っていて、実態は全員で安倍総理を絶対に予算委員会に出さない、という姿勢としか思えません。」

ナレ「今国会の会期末は一週間後、国民が納得する説明は得られるのでしょうか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「安倍総理が久々に国会で答弁しましたが、一言で国会と言っても今回答弁したのはこちらの本会議ですね、まあ総理は用意した文章を壇上で読み上げただけだったわけですけども、丁々発止のやり取りがあるのはこちらの予算委員会ですが、予算委員会にはまさに、桜を見る会の問題の発端となった先月の8日以降一度も安倍総理は姿を見せていないわけですよ、総理は国会の求めがあれば出るとしていますけれども、このまま出ないということが続けていくのでしょうか。」

星浩「まあそうですね、真相解明にはやっぱりこの一問一答でないと議論は深まらないんですよ、けどまあ自民党からするとこれどんどん野党からの追及を受けたらもう相当苦しくなるというので今回は拒否しようという姿勢ですよ、まあ9日までの臨時国会で逃げ切れればですね、人の噂も七十五日ではないけども、関心も薄れてくるとまあたかをくくっているということでしょうね。」

小川彩佳「その国民感情はどこにあるのかといいますと、こちら、直近の世論調査なんですけれども、内閣支持率、桜を見る会の問題が出たこの一ヶ月で、毎日、共同、読売それぞれが5,6ポイントほど下落しているんですよ、この下落幅は、まだ政権が危機感を覚えるほどではないのか、それとも安倍総理を国会に出さないという戦術をこのまま続ければ、そのうち関心が薄れていくのか、というふうに考えているのか。」

星浩「そうですね、まあ支持率の低下が止まるとは私は限らないと思いますね、なぜならこの問題、非常に根深い問題なんです、こう国の行事を私物化しているとか、公文書を恣意的に破棄しているとかね、非常にその問題は深刻なものですから、そう簡単に収まりませんし、このままいくと来年の通常国会は桜一色ということになりかねない状況だと思いますね、目先の国会では逃げ切ろうと思うけれども中長期的には政権にとってダメージになるという構図だと思うんですね、まああのこのまま行けば国民の関心も低下するというふうに見ているとすれば、私はちょっと国民の世論を見くびっている、世論を見誤っている、というような気がしますね。」

このトピックに当てられた時間は567秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ COP25 : 結論→特に問題なし

小川キャスターの「そして気候変動対策について話し合う会議が開幕しました。2ヶ月前に厳しい言葉で世界のリーダーを批判したあの少女も現地に向かっています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「眼の前の危機に人々は声を上げずにはいらませんでした。フライデーズフォーフューチャー、未来のための金曜日、と銘打ち先週の金曜日、世界各地で一斉に行われた地球温暖化対策を求めるデモ。それは日本でも。」
デモ（ナイジェリア・ラゴス）「今、私達は安全で持続可能な環境を求めているのです。」"

"ナレ「スペインの首都マドリッドで今日、開幕したCOP25、第25階締約国会議、気候変動対策を話し合う国連の会議で190を超える国と地域が参加しています。」

グテーレス（国連事務総長）「代表者の皆さん、国庫での決定は希望の道を選ぶか、降伏の道を選ぶかを定義します。変化を求める人々のに耳を方受けましょう、私達 z 船員が直面している差し迫った驚異に目を向けましょう。」

ナレ「来年から本格的に始まる地球温暖化対策の国際的な枠組み、パリ協定、世界全体の平均気温の上昇を 1.5℃以内に抑えることが合意されていて、今回の会議で図っコクの取り組みを確認します。」

グテーレス「今まさにわたしたちは地球規模の機器に直面している、はっきりさせましょう。これまでの各国の努力ではまったくもって不十分なのです。」 "

ナレ「開幕に先立ってグテーレス事務総長はこれまでの各国の取り組みは全く不十分と指摘。温室効果ガスの削減目標の再設定など具体的な取り組みをすぐに示すよう、訴えました。」

ナレ「温室効果ガスの主要な排出国であるアメリカが離脱する中、二酸化炭素の排出量が世界 5 位の日本にも厳しい目が向けられています、77 カ国が表明している 2050 年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという目標にも日本は加わっていません。」

"小泉進次郎（環境相）「楽しく、クールに、そしてセクシーでなければいけない。」

ナレ「今年 9 月、外交デビューの場で気候変動の対策について高発現し物議を呼んだ小泉環境大臣。」

記者「石炭は地球温暖化の大きな原因の一つ、日本はどのような方針ですか。」

小泉進次郎@「減らします。」

記者「どのように？」

小泉進次郎「私は先週、就任したばかりです。省内でその方法について話し合いをしている。」

ナレ「気候変動への具体的な政策を示しませんでした、あれからにヶ月あまり、日本として具体的な取り組みは準備できたのでしょうか。COP25 出席を前に先週の改憲では。」

小泉進次郎「環境省としても各省と調整をしなければできない課題がいっぱいあることも現実であります、その中でも、環境省が自己完結でやりうる再エネの主力電源化に向けた取り組みなど、環境省自身が率先してできることを徹底的にやっていこう、と。」 "

"ナレ「一方、COP25 に参加するためスペインに向かっている少女がいます。」

グレタ・トゥンベリ「あなた方は私達若者に希望をたくそうとしている、よくそんな事ができますね！」

ナレ「スウェーデンの高校生、グレタ・トゥンベリさん。国連の場で各国のリーダを前にこう訴え、一躍脚光を浴びました。」

グレタ・トゥンベリ（Twitter）「18 日目、私達はヨーロッパに向けて急いでいます。」

ナレ「これは一昨日投稿された Twitter の内容です、アメリカにいたグレタさんがスペインへの移動に選んだのは飛行機ではなく温室効果ガスを排出しないヨットです。」

グレタ・トゥンベリ（Twitter）「現時点での到着予定時刻は火曜日の朝です、リスボンのドカ・デ・アルカンタラに到着します。私達は皆皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。」 "

ナレ「待たなしの気候変動対策。具体的な取り組みは示されるのでしょうか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「グレタさんの運動などをきっかけに未来を生きる世代の若者達が危機感を持って声を上げ始めているわけですが、38 歳と若い小泉大臣がどのような具体案を COP25 で提示されるのか、それを非常に期待さ

れていると思うんですが。」

星浩「そうですね、国内外で期待は高いんですけども今のところなかなか難しい感じなんです、言葉よりもやっぱり具体的な政策が必要なんですけれども。例えばその世界的に批判されている石炭火力ですよ、これはやっぱり小泉さんからすると経産省とか産業界をこう抑えて具体的にやらなくちゃいけないんですけども、今のところその段取りはまだまだ踏まれていないんですね、そういう意味でちょっとアピール材料がないまま、COP25 に行ってしまったという状況なんです。」

小川彩佳「具体案はじゃあ出てこない。」 "

このトピックに当てられた時間は 409 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・福島第一原発：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「福島第一原発の事故処理で最大の難関となる燃料デブリの取り出しを再来年から行う方針が示されました。政府は今日、官邸で行われた会議で、福島第一原発の廃炉に向けた工程表の改定案を取りまとめました。最大の課題はメルトダウンによって溶け落ちた核燃料、いわゆる燃料デブリの取り出しですが、改定案には比較的作業がしやすいとされる 2 号機で 2021 年から取り出しを始める方針が明記されました。30 年から 40 年で廃炉にする計画は維持しているもののどうやって取り出すかなど詳細は決まっておらず課題は残ります。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 48 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月3日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、アメリカ大統領選挙、グretaさんポルトガルに到着、米朝関係		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京で3歳児虐待死事件 ・東京での強盗殺人で同居女性の息子を逮捕 ・桜を見る会 ・アメリカ大統領選挙 ・部活動で丸刈りを矯正された元生徒が学校を提訴 ・グretaさんポルトガルに到着 ・米朝関係 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#しつけと体罰 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「続いては連日お伝えしている桜を見る会をめぐる問題です、」とのコメントに対して、山本キャスターが「今日、野党が追及したのはこちらの文書です、こちらマルチ商法で経営破綻したジャパンライフに関する消費者庁の内部文書とされるものなのですが、一体何が書かれていたんでしょうか。」と応えて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「埼玉県で野菜の種を販売する野口勲さん。その野口さんのもとに突然届いたもの、それが。」</p> <p>野口勲さん「今話題の60番台ですね。」</p> <p>ナレ「桜を見る会の招待状です。割り振られていたのは60の番号。」</p> <p>野口勲さん「昭恵さん何のかなあと、だったらありがたいなとは思ったんですけどね、」</p> <p>ナレ「野口さんは伝統野菜の普及活動をしています、その活動に興味を持った昭恵夫人と五年前に対談。去年2月には昭恵夫人が野口さんの店を訪れました。」</p> <p>野口さん「モリカケがあったから少し落ち着かれてからやっと来られました、と言ってこられましたからね。春だねを10いくつか選んで買って持っていかれた。」</p> <p>ナレ「その1ヶ月後、野口さんのもとに桜を見る会の招待状が届いたのです。招待状は今年も届き、いずれも番号は60でした。野口さんは予定があったことから桜を見る会には出席していません。」</p> <p>野口さん「わざわざ頂いたのに、むしろお会いしたら、スママセンでしたぐらい言おうとは思っていましたがけれど。」</p> <p>ナレ「やはり60は総理や昭恵夫人の枠なののでしょうか。先週金曜日、内閣府は番号について知っている担当者がいることを明かしていました。」"</p>		

"今井雅人（「立国社」会派衆院議員）「その方にこの 60 から 63 の違いというのを確認してもらえませんか。」

内閣府の担当者「承知いたしました。」

ナレ「担当者に確認すると応えていた内閣府、しかし今日、その回答を聞かれると。」

内閣府の担当者「会の終了を持って使用目的を終えるということから、内閣府においてこの情報は保有していないというところでございます。」

今井雅人「その時の担当者に確認してきてくださいっていいましたよね。」

内閣府の担当者「当時の担当者が特定できるということは申し上げましたけれども、確認をするというところまで、確約したかと言うと記憶にございません。」

今井雅人「わかりました、って言って。」

内閣府の担当者「わかりましたというのはそういう、ご趣旨は理解しましたが、必ず確認をしてきますということをご承諾したということではありません。」

ナレ「内閣府は担当者に確認していませんでした、またこの野党のヒアリングにはある被害者が参加していました。」

被害を訴える男性「内閣府の皆さん、安倍さんに伝えてください、ぜひ面会をさせてくださいよ、これが私の本音です。」

ナレ「マルチ商法で経営破綻したジャパンライフの被害者です。当時の会長は桜を見る会の招待状を宣伝に使っていましたが、その招待状も野党が総理枠として指摘する 60 の番号でした。」

被害を訴える男性「安倍政権と山口隆祥の癒着、繋がり、完璧であると、おじいちゃんおばあちゃん、誰もがそう思いましたよね、私次 s ンもそう思いました。」

ナレ「一方、ジャパンライフを巡っては新たな案問題が浮上しています。これは野党が入手した消費者庁の内部文書とされる 5 年前の資料、この時ジャパンライフの問題は既に表面化していて、担当課長が立入検査を行う意向を示していました、ところが。」

文書「立入検査を行う方針であることに違和感がある。」

ナレ「後任の課長が立入検査を行うほどの違反事実があるわけではないとして検査を見送ったことなどが記されています。さらに文書には政治的背景による余波懸念、などという記載もありました。」 "

"黒岩宇洋（立憲民主党衆院議員）「この文書自体は消費者庁の内部資料ですね。」

消費者庁の担当者「そのへんもお答えは差し控させていただきます。」

黒岩宇洋「そのへんってどこよ、存在の有無ぐらい認めてくださいよ。」

ナレ「桜を見る会の問題は収束の気配が見えません。」 "

小川彩佳「文書がない、という説明で追及をかわそうという政府ですけれども安倍政権のもとではこれまでも同じことが繰り返されてきました。森友学園問題で文書の改ざんに関わり自殺に追い込まれた財務省の職員のご遺族は変わらぬ政府の在り方を苦々しい思いで見えています。」

"ナレ「桜を見る会の真相解明を阻むのは」

大塚幸寛（内閣府大臣官房兆）「名簿は一年未満ということで廃棄をしてございます。」

坂田元洋（内閣府総務課長）「保存期間一年未満の文書として遅滞なく廃棄するというふうな取り扱いをしております、今年の招待者名簿についても既に私共の手元にはない、と。」

ナレ「招待者名簿の保存期間は一年未満、既に捨ててしまったという説明です。これに野党は。」 "

蓮舫（立憲民主党副代表）「この政権は都合の悪い情報は出さない、隠す、改ざんする、消す、シュレッダーする。」

"ナレ「確かに安倍政権では公文書の管理をめぐる問題が繰り返されてきました。例えば加計学園の獣医学部新設をめぐる問題、学園の関係者などが官邸を訪問し特別扱いされたのでは、と問題になりましたが、」

萩生田光一（官房副長官、当時）「官邸への訪問予定届については保存期間 1 年未満の行政文書として使用目的終了後遅滞なく廃棄する扱いとなっております。」

ナレ「さらに森友学園に国有地が払い下げられた問題でも、」

佐川宣寿（財務相理財局長、当時）「近畿財務局と森友学園の高所記録はございません、保存期間は一年未満とされておりまして、記録が残っていないということでございます。」

ナレ「疑惑が浮上するたびに繰り返される文書は捨てたとの説明。こうした状況を苦々しい思いで見ている人がいます。85歳の男性。去年3月54歳の息子が自ら命を絶しました。財務相の近畿財務局に努めていた息子、遺書には森友問題をめぐる苦悩が記されていました。」 "

"自殺した近畿財務局職員の父親「本人は実際とは違うと言って、まあ上司に言えない立場ですわな、それで結局嘘を書いたということが、それが一番の原因だったと思いますよ。」

ナレ「公務員の命まで奪うことになった文書改ざん、こうした事態を受け政府は公文書管理のルールを厳格化してきました。おとしには文書管理のガイドラインを見直し、政策決定過程の検証に必要な文書は原則として1年以上保存すると明記、一方1年未満での廃棄は例外と位置づけたのです、にも関わらずなぜ桜を見る会の名簿は一年未満で廃棄されたのでしょうか。」 "

"大塚幸寛（内閣府官房長）「かなりの数のその膨大な個人情報でございますので、この適切に管理する必要も一方であるわけでございます、そういったようなことを総合的に勘案致しまして、保存期間一年未満文書として終了後遅滞なく廃棄する扱いとすることとさせていただきます。」

ナレ「ただ、招待者名簿の保存期間は以前は1年でした。内閣府がこれを一年未満としたのは実は去年の四月のことです。」 "

宮本徹（共産党衆院議員）「膨大な個人情報については麻生内閣以前も変わらないじゃないですか、なぜこれを捨てなきゃいけないような扱いにしたのかということですよ、残すわけにはいかないやましいリストになってしまったと、そういうことなんじゃないですか。」

"ナレ「自殺した近畿財務局の職員が育てていた桜。」

自殺した近畿財務局の職員の父親「花ですね、初めて見たこれ。」

ナレ「今年、初めて花が咲きました。下のものにしわ寄せが来る状況は今も変わっていない、父親はそう思っています。」

自殺した近畿財務局の職員の父親「桜を見る会だって、なんとかかんとか言って安倍さんもしまいには逃げるでしょ、招待はしとらんとか何とか言って、上に立つ人は全て、そういう人が多いんじゃないかな。」 "

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

"小川彩佳「森友加計問題で繰り返された公文書の不適切な扱いによって、こうして亡くなる方まで出てしまったまた繰り返されないようにルールが変わったはずなのに、今回また、桜を見る会を巡っても資料を公開しようと

しない、」

星浩「森友加計問題を受けて安倍総理は深く反省をして公文書の管理を抜本的に見直されたはずなんですね、ところが今回その都合の悪い文書はまた廃棄されてしまったということで、まあ、全く反省は生かされていないという現象ですよ。公文書管理法という法律がありましてね、そこには公文書は民主主義の根幹を支える国民共有の資源と書かれていますよね、で今回そのいい加減な文書の廃棄をしているということは民主主義のそのものを崩しているという行為だと思います。」

このトピックに当てられた時間は 779 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

・アメリカ大統領選挙：結論→特に問題なし

小川キャスターの「こちらに 1 枚の写真があります、トランプ大統領の周りを囲んで祈りを捧げているのはある宗教界のリーダーたちなんです、彼らはこのようにトランプ大統領に寄り添うことで悲願を成し遂げようとしています、それはアメリカ社会を長らく二分してきたあの問題に決着をつけるということです。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"市民「毎日 3000 人も市民の命が奪われている」

ナレ「真っ赤な布を身にまとい地面に寝転んだ子どもたち。」

"宮本晴代（報告）「今、ワシントンの中心部最高裁の目の前で子どもたちがこのように寝転ぶというパフォーマンスを行っています、これは中絶でなくなった子どもたちの胎児たちの血を表しているんだそうです。」

ナレ「これは人工妊娠中絶の禁止を求める抗議行動、参加者は全員 10 代の子どもたちです。」

イサドラさん（13 歳、中絶反対運動に参加した）「中絶される赤ちゃんの痛みを私たちは伝えないといけないの。」

ナレ「主催しているのはキリスト教保守派の団体です、国民の四人に一人と言われる福音派を中心とするキリスト教保守派、中絶は殺人であり神への冒瀆だとして禁止を求めています。中絶反対運動を担う人材の育成に力を入れ、子供向けのサマーキャンプを行っています。」

中絶反対活動をする牧師「活動のない信仰は死んでも同然だ。シンプルに考えよう、行動しなければ、そんな信仰意味がないんだ。」

ナレ「子どもたちはホワイトハウスの前でも中絶反対を訴えますが、すぐには反発にあいました。」

"高校生「あなたいくつ？」

少女「12 歳。」

高校生「私は 17 歳だけどあなたのほうがよく知ってるって？私たち女性よ」

ナレ「キャンプ参加者の大学生が助っ人に入ります。」

大学生「妊娠 6 週でこんなふうに見えるのよ。」

高校生「これが人間に見えるの？まだ臓器も機能していないのに。」

ナレ「胎児にも人権がある、と主張しますが、女性の選ぶ権利はどうなるのかと反論されます。」

高校生「12 歳の女の子が例方で妊娠しても産めというの。」

大学生「妊娠したら赤ちゃんが存在するわ」

高校生「その子自身が子供なのに」

大学生「そうね。」

高校生「じゃあどうして出産を強制するの。」

ナレ「中絶禁止を訴える子どもたちに対し、」

女子高校紫衣「あの子達は親に洗脳されている。幼すぎて、中絶が必要な人のことを理解できないのよ。」

ナレ「子供を洗脳し利用しているとの批判にキャンプ運営側はこう反論します。」

ケンパーさん（サマーキャンプ運営者）「洗脳なんてしていません。子どもたち自身が何が正しいか判断し彼らがやりたくて活動しているのです。」

ナレ「自ら望んできているという子どもたち、その思想の源泉は家庭にありました。」

"ナレ「キャンプに参加した 13 歳のローマさんは学校に通ったことはありません、ローマさんの両親はキリスト教の価値観に基づく教育をしたいと、公教育を拒否しホームスクーリングと呼ばれる自宅学習をしています。6 人の兄弟全員が算数や歴史などすべての科目を両親から学びます、自宅学習は熱心なキリスト教の保守派を中心に全米およそ 2% の勝ち得で行われています。」

ローマさんの父親（36）「DNA は神様が君たちにこうなってもらいたい、とって描いたたった一つの設計図なんだ。」

ナレ「この日は神の存在と生命の起源について話し合いました。」

ローマさんの母親「どの時点で DNA は現実のものとして出現する？」

ローマさん「受精の瞬間」

ローマさんの母親「受精はどんなもの？」

ローマさん「精子と卵子が会って人間に必要なものが揃うときのこと」

"ナレ「命は神から与えられた、との信仰に基づき中絶は禁止されるべきだと考えています。」

ローマさん「中絶は皆が知らない悪で皆知らないから受け入れてしまうんです。。」

ナレ「母親は中絶は悪だと子どもたちに教えてきました。そして同性愛や進化論にも否定的です。」

ローマさんの母親「現代科学は聖書を否定する証拠を発見していません。最近の研究は DNA 解析で人類の元を辿って、人類はアダムとイブから始まったというせい y そに書いてあることに近づきつつある。」

"ナレ「トランプ大統領は前回の選挙で岩盤支持層となったキリスト教保守派を意識した言動を繰り返しています。」

トランプ大統領「お腹にいるときから全ての子供は神からの聖なる授かりものだと信じている。」

ナレ「トランプ大統領のもとでキリスト教保守派は悲願である中絶禁止にかつてなく近づいたと捉えています。」

中絶禁止を求める「全米いのちの権利委員会」委員長「私達は満場一致でトランプ大統領の再選を支持します。」

ナレ「女性問題など数々のスキャンダルを抱えるトランプ氏ですが倫理面で気にならないのか尋ねると。」

「全米いのちの権利委員会」委員長「トランプ大統領が信心深いかどうか、私にはなんとも言えません。中絶禁止のための彼の行動が重要なんです。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

"小川彩佳「うーん、性暴力による妊娠だってある中で女性が自分の体のことを自分で決めるその権利すら奪われるというのは時代から逆行しているなということを感じてしまいますけれども、宗教観の違いでこういうことが起きている。そして中絶反対派が今勢いづいているんですね。」

星浩「中絶問題の最終判断をするのはアメリカの連邦最高裁判所なんですけれどもトランプ政権になってから、

トランプ大統領は保守派を二人送り込みましてね、今のその保守派が5人でリベラル派の4人を上回ってこのままいくとですね、その中絶の規制を強化しても最高裁で認められると言うので、中絶反対派が勢いづいているというのが実は背景にあるんですね。」

小川彩佳「そして次の大統領選に向けてもこの中絶反対派団体の票田を抑えるというのがトランプ大統領にとっても重要になってくるということですね。」

星浩「そうですね、アメリカではその賛否は拮抗しているんですけどもなにせ、トランプさんの支持基盤というのがキリスト教福音派という強力な団体でトランプさんが次の再選を睨むとこの福音派の意向を無視できないし、むしろ福音派の意向をかなり尊重しないとイケないということでどンドン、まあさらに勢いづいていくということなんですけれども、これによって大統領選挙の争点になりましてね、またアメリカの分断が深まるという悪循環になっているような気がしますけれどね。」

このトピックに当てられた時間は 519 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・グレタさんポルトガルに到着：結論→特に問題なし

COP25に参加するためにグレタさんがポルトガルに到着したことについて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「16歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんがスペインで開催中の気候変動対策をめぐる国際会議 COP25への参加に向け、ポルトガルの港に到着しました。石油を使う飛行機を避け、ニューヨークからおよそ3週間をかけ、ヨットで向かったグレタさん。大きな拍手で迎えられました。」

グレタ・トゥンベリ「我々にできることはすべてやる必要があります。人類の未来の生活を守るために。」

ナレ「各国の政府代表に気候変動対策のさらなる強化を訴える、と決意を表明しています。」

このトピックに当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝関係：結論→特に問題なし

米朝関係について以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

トランプ大統領「今、我々はこれまでで最も強力な軍を持ち、世界で最も強力な国になっている。それを使う必要がなければいいが、もし必要があるなら行使する。」

ナレ「アメリカのトランプ大統領は北朝鮮の金正恩党委員長との個人的な関係は非常にいい、と続けた上で、彼が非核化の合意を守ることを望んでいると強調。比較加工性が停滞する中、アメリカへの批判を強め、相次いでミサイルを発射している北朝鮮を強く牽制しました。」

このトピックに当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月4日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、日米貿易協定、在日米軍駐留費、アメリカ議会のウイグル人権法案		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村哲さん銃撃され死亡 ・桜を見る会 ・日米貿易協定 ・東京で3才児虐待死事件 ・マラソンと競歩の日程合意 ・在日米軍駐留費 ・アメリカ議会のウイグル人権法案 ・スポーツ報道 ・【異論反論】#クリスマスプレゼントに中古品 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会：結論→特に問題なし <p>スタジオでの小川キャスターの「さて次です、桜を見る会についてです、野党が提出を求めている招待者名簿のバックアップデータがある時期まで残っていたことがわかりました。」とのコメントを受けて山本キャスターが「それでも政府はバックアップデータが元のデータと同じものであるにもかかわらず公文書ではないとして提出には応じませんでした。これはどういう理屈なんのでしょうか。」と応えた後に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「内閣府は国会で嘘をついたのでしょうか。」</p> <p>"宮本徹（共産党衆院議員）「どの省庁から推薦が何人あったのかというのは残っているはずだと思います、それももう破棄しちゃったんですか。」</p> <p>井野靖久（内閣府大臣官房長、当時）「今年の資料につきましてもう既に開催が終わりましたので、破棄させていただきます。」"</p> <p>"ナレ「今年5月、破棄したと明言したのは今年の桜を見る会の招待者名簿です。そして、破棄したとして野党が求めた資料提供に応じませんでした。ところが今日、意外な事実が明らかになりました。」</p> <p>菅義偉官房長官「5月7日から9日ごろデータを消去した後、最大8週間残っていたのではないかと思います。」</p> <p>ナレ「この答弁をした5月時点では名簿のバックアップデータが残っていたのです。内閣府が電子データを破棄したとしているのが5月の7日から9日、しかしサーバーにはバックアップデータが破棄後8週間も残っています、それにも関わらず内閣府は5月21日に履きしたとして名簿の提出を拒みました。では、なぜバックアップ</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

データを使って名簿を提出しなかったのでしょうか。」

菅義偉「バックアップファイルは一般職員が業務に使用できるものではないことから、組織共用性に欠いており、行政文書に該当しない、こういう説明を受けています。」

ナレ「元の文書は一般の職員がアクセスできるから行政文書に当たる、しかしそれと同じ文書でもバックアップになると別の場所に保存されていて一般の職員がアクセスできないため、行政文書や公文書ではなくなる、こういう理屈です。」

"記者「国会の資料請求に対しても応じる必要がないというご認識ですか。」

菅義偉「ですから公文書ではなかったということでありますから、そうだというふうに思います。」

記者「行政の少なくとも管理下にあったわけですよ、バックアップとしてであるならば最大限努力をしてきちんとその資料を提供するのが行政の義務じゃないんですか。」

菅義偉「今申しあげましたけれども、そういう対応というよりも今申しあげましたように、行政文書には該当しないと考えた前提で適切に対応したと思います。」 7

記者「データを利用できないという風になれば何のためにバックアップを取っている風になるのでしょうか、データというのはいつでも復旧できるように。」

菅義偉「それはものによって違うのではないのでしょうか。」

ナレ「そもそも、招待者名簿の保存期間は一年間でした、それが去年 4 月から一年未満に変更されました、専門家は一年未満という期間は短すぎると指摘します。」

三木由希子（情報公開クリアリングハウス理事長）「桜を見る会がどういう行事だったのかということはこれはちゃんとあとからその事業をあとづけて検証できるお湯にしておかないといけない、次の年の行事が始まる前にもないとかいう話だと、それは本来は適当ではないという話になると思うんですよね。あれだけのお金をかけて 1 万人以上集めてやっているのに誰を招待したのかわからないって常識ではありえないでしょう、適切ではないですよ、ということが多くの人が今、考えている、感じていることなんじゃないでしょうか。」

ナレ「一方、マルチ商法で経営破綻したジャパンライフが桜を見る会への招待状を宣伝に使っていた問題、野党は総理が招待したのではと追及します。」

大門実紀史（共産党参院議員）「一番ジャパンライフにとって厳しいときに、最後の荒稼ぎをやろうとしたときに手を貸したのがですね、この総理の招待状だと、」

"ナレ「共産党の大門議員が特に問題視するのが招待状が出されたタイミングです、招待状が出されたのは 2015 年、実はその前の年、消費者庁はジャパンライフへの立入検査を検討していました。ところが大門議員によるとその頃消費者庁でジャパンライフをめぐる内部文書が作成されます、要回収との注意書きが書かれた文書。本件の特異性とタイトルでこう書かれています。」

内部文書（音声）「政治的背景による余波懸念。」

大門実紀史「ジャパンライフには内閣府・経産省の元役人が顧問や役員で抱え込まれています。安倍総理を始めとして国会議員などに広くお中元を巻いているとかですね、非常に政治的な対応をしていたのがジャパンライフでございます。」

ナレ「結局、この年、ジャパンライフへの立入検査は見送りになったと言います、そして年が明け発送された桜を見る会への招待状。野党はジャパンライフがこれ宣伝に使ったことで被害が拡大したと言います、野党が入手

した資料について消費者庁のOBはこう語ります。」

"消費者庁OB「政治家の顔色をうかがっているような言葉が書かれている、中立性が疑われ法の失効が歪められているように感じられる。」

ナレ「今日、国会では。」"

"福島みずほ（社民党参院議員）「要回収と書いてありますが、これ、消費者庁で議論したということによろしいですよ。」

小林涉（消費者庁審議官）「今後の違反被疑事件の調査にも支障をきたすおそれがございますので、ご質問への答えは差し控えさせていただきたいと思います。」

福島みずほ「存在は認めますね。」

小林涉「ご質問への答えは差し控えたいと思います。」"

大門実紀史「消費者庁はですね、今、元職員を含めて誰が資料を出したのか探し回っているんですね。公益通報制度の担当の省庁がですね、通報者を探し回る、躍起になっている、これ滑稽というかブラックジョークですよ。」

ナレ「結局、消費者庁は答弁を拒否する姿勢を崩しませんでした。参議院に予算委員会では金子委員長が一般質疑の開催を提案していましたが、与党側は今日、これを拒否、逃げ切りを凶ろうとする姿勢が鮮明になっています。」

蓮舫「総理隠し、桜隠し、データ隠し、今度は委員長外し、極めて極めて理不尽で納得できません。」

VTRを受けてスタジオで以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「総理は国会に呼ばれれば説明するとしていますけれども、野党の開催要求を与党が拒否して一向に予算委員会が開けないという状況が続いているわけですが、これ自民党が首を縦に振らない限り予算委員会というのは開けないものなんですか。」

星浩「参議院にはじつはですね、独自のルールが有りまして、委員会の委員の三分の一以上の要求があったときは委員長は委員会を開かなければならないということになっていますので、参議院の予算委員会は野党が三分の一に足りていますので要求しているんですね、ですから金子委員長は委員会を開かなければいけないんですけども、自民党はですね仮に委員会をまず開くのも反対していますし、それからもし開いても総理を出さないと色々注文をつけて結局有耶無耶になっているわけですね、国会というのは国権の最高機関ですので、ルールに基づいて、この規則に基づいて運営してもらわないと困るわけですね、それからその安倍総理は今回ずっとその疑惑があれば与党であれ、野党であれきちんとその本人が国会で説明することが必要だと言っているわけですので、ぜひここは安倍総理自身が実践してもらいたいところですよ。」"

このトピックに当てられた時間は560秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・日米貿易協定：結論→問題あり

スタジオでの小川キャスターの「さて、そして桜を見る会以外の国会ですけれども、今日は国会で可決承認された日米の新しい貿易協定についてお伝えをしていきます。この協定を巡ってはこちら、日本がアメリカの牛肉の関税引き下げを応じる代わりにアメリカが日本の自動車関連の完全を撤廃することについてアメリカ側の確約が取れているかどうか、これが焦点だったんですがここで注目したいのがですね、政府が作成したコチラ、日米貿易協定の文書、自動車などに関する部分を抜粋したものです。こちらが修正前、こちらが修正後、この赤い

線が引いてある部分にだけ、変更になっているんですね。どこがどう変わっているのか、こちらがその部分を拡大したものなのですが、修正前は『さらなる交渉による関税撤廃』としていたものが修正後は『関税の撤廃に関してさらに交渉』という形にあることをきっかけにこれ修正されているんです。一見、こう言葉を組み替えただけのように見えるのですが、この2つ実は全く正反対の意味を持つものです、今日はそれを見ていきます。」とのコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレ「今日、国会では日米の新しい貿易協定が与党などの賛成多数で可決承認されました。この関税ではアメリカ産牛肉が今の38.5%から段階的に9%まで引き下がる一方で現在2.5%の日本車に関する関税は継続協議する方向で撤廃は事実上先送りされます。」

安倍総理「日米双方にとってウィンウィンでバランスの取れた結論を売ることができたと考えております。」

ナレ「ウィンウィンでバランスの取れた協定と強調する安倍総理、果たしてそうなのでしょうか。日本にとっては牛肉の関税を引き下げた分、アメリカへその見返りを求めたのが自動車関連の関税撤廃でした、その関税撤廃が先送りされたわけですが、日本がウィンウィンだと主張する理由とは。」

安倍総理「自動車や自動車部品については今回の協定では単なる交渉の継続ではなくさらなる交渉による関税撤廃を明記致しました。」

ナレ「日本政府は最大の輸出額を占める自動車やその部品の関税については撤廃が前提となっている、と主張しているのです。その根拠となるのは140ページあまりある協定の付属文書のわずか2行の文章。日本語訳はなく、英文のみです。その解釈を巡って、」

茂木敏充（外務大臣、10月10日衆議院予算委員会）「これ日本語に致しますと、『さらなる交渉により関税撤廃』、さらなる協議は単なる協議ではなくて、関税撤廃がなされることを前提に、”with respect to” ですから。」

玉木雄一郎（国民民主党代表、10月10日衆議院予算委員会）「"further negotiations"つまりさらなる交渉であって、関税撤廃が約束されているわけではありません。」

ナレ「野党側は約束されているのは交渉であって、関税撤廃ではないと主張したのです、しかしこの質疑の直後。」

後藤祐一（国民民主党衆院議員、衆議院外務委員会先月6日）「た m 記代表が予算委員会で指摘した直後ですが、しれっと何の発表もなく密かに変わっています。」

ナレ「こちらは内閣官房が公表している日米貿易協定の概要、協定書の付属文書に書かれた英文の解釈について野党の指摘のあと、交渉による関税撤廃ではなく関税撤廃を行うかどうか今後、交渉していくという趣旨に文言が修正されていたのです。」

後藤祐一「茂木大臣はさらなる交渉による関税撤廃を明記致しました、と発言しておられますが、この発言を撤回なり修正なりしていただけますでしょうか。」

茂木敏充「これはまさに、関税の撤廃を前提として関税撤廃の時期がどうなるかということについて今後交渉するということですのでございますから、関税の撤廃に関して更に交渉するということと、さらなる交渉による関税撤廃、内容的には私は違っていないと。」

ナレ「あくまで、関税の撤廃は前提、と強弁する政府側、しかし自動車などの関税を巡ってはそもそも日本とアメリカの説明は食い違いがありました。」

ライトハイザー通商代表（9月25日）「自動車の関税引き下げを議論することはたしかに日本の強い望みだ。しかし現時点で自動車の関税は今回の協定には含まれていない。」

"ナレ「アメリカの思惑について専門家は。」

内田聖子（アジア太平洋資料センター共同代表）「アメリカにとってこの自動車産業というのは非常に重要な産業です、アメリカ側が自動車や部品の関税を早々に撤廃するというふうに約束するということはありえない、政府はウィンウィンだと言っているんですけども、決してそんなことはなくてですね、失うだけの協定である、と。」

ナレ「さらに、内田氏は今回の協定が WTO 世界貿易機関のルールに違反するのではないか、と指摘します。」

内田聖子「二国間の協定を結ぶ際にはですね、WTO の中の決まりとして約 9 割程度の自由化をするというふうに解釈をされています。アメリカ側はですね、今回自動車と自動車部品、これの関税撤廃をしていないという結果になっていますので、6 割弱ということになりまして、これは明らかに WTO の基準からは大きく逸脱している協定だと。」

ナレ「本当に日米にとって平等な協定と言えるのでしょうか。」

"トランプ大統領「今回は""部分的な""もので難しい交渉はまだ続いている、まだ第一段階だ。」

ナレ「今回の協定は第 1 段階に過ぎないと述べるトランプ大統領。日本政府は警戒を強めます。」

日本政府関係者「協議が再開すれば日本車に対して追加関税という脅しをかけ、農業分野で更に譲歩を求めてくるのではないか。」

ナレ「今後、政府は自動車などの関税撤廃について協議したい考えですが思惑通りに進むかどうか不透明です。」

このトピックについて当てられた時間は 445 秒だった。

このトピックを取り上げるにあたっては、日本側の牛肉の関税撤廃がアメリカにとっては利益になるが日本側には不利益になるかのように取り上げられていた。

確かに畜産業者にとっては牛肉の関税撤廃は不利益かもしれないが、一般消費者にとってはアメリカ産の牛肉を今までよりも安く買えるようになるため、利益こそはあれど不利益はないはずであるにも関わらず、牛肉の関税撤廃が日本にとって不利であるかのように伝えるのは、明らかに畜産業者の利害の立場にたった取り上げ方であり、放送法上第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らして問題であると言える。

・ 在日米軍駐留費：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカのトランプ大統領は 3 日、日本は裕福な国だ、などとして、在日アメリカ軍の駐留経費について日本側の負担を増やすよう安倍総理大臣に要求したことを明らかにしました。また、韓国やサウジアラビアなどに対しても負担を増やすよう求めていると述べました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 24 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ アメリカ議会のウイグル人権法案：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカ議会下院は中国への新たな圧力となるウイグル人権法案を可決しました。法案はウイグル族を弾圧する中国当局者に制裁を課すよう、トランプ政権に求めるもので、上院での可決とトランプ大統領の署名で成立します。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・桜を見る会

文書を廃棄したにもかかわらずデータが残っていたことについて、内閣府の対応が批判的に取り上げられていたが、他方で廃棄された情報が実はデータとして残されていた、ということ自体は問題視されていなかった。

しかし、役所が廃棄したとしている情報が文書ベースでは廃棄されたもののデータとしては残されている、というのはそれはそれで個人情報の保護という観点から問題ではなからうか。

また、消費者庁の内部文書の「政治的背景による余波懸念。」との文言及び共産党の大門実紀史衆院議員の「ジャパンライフには内閣府・経産省の元役人が顧問や役員で抱え込まれています。安倍総理を始めとして国会議員などに広くお中元を巻いているとかですね、非常に政治的な対応をしていたのがジャパンライフでございます。」との発言が取り上げられていたが、政治的背景というのは必ずしも国会議員との関係のことなのだろうか。

内閣府や経産省の元役人が顧問や役員として抱え込まれている、ということは内閣府や経産省にとっては「天下り先」の一つだったということではなからうか。そうした天下り先をみすみす潰すということを守るために「政治的背景による余波懸念」という言葉を使っただけという可能性もあるのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月5日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、経済対策		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑 ・アフガン銃撃で犠牲 中村哲医師を悼む声 ・ウーバーイーツ配達員が一方的な報酬引き下げに反発し、経営側に団体交渉を申し入れ ・熊谷6人殺人、2審では1審の死刑判決を破棄し無期懲役判決 ・入管施設の実態 強制収容のクルド人女性が証言 ・豊洲マンションで死亡の3歳児、虐待を受けた時の身体的特徴と一致 ・はとバス死亡事故、運転手はインフルエンザの診断を受ける ・経済対策 ・異論反論オブジェクション「あなたと#待ち合わせを考える」 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑→結論：問題なし <p>小川キャスターの「まず初めにお伝えするのは、連日お伝えしています「桜を見る会」です。招待者名簿のバックアップデータは何故出てこないのか。あの方が苦しい答弁を続けています」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「公文書管理法のガイドライン改定に委員長として携わった三宅弘弁護士、いま危機感を感じています」</p> <p>三宅弘氏（弁護士、元公文書管理委員）「公文書管理法を作る前の後退した運用に戻るのではないかと感じて、大変危惧しております。」</p> <p>ナレーター「政府がないと言い続けてきた招待者名簿に、実はバックアップデータがあったとわかったからです。内閣府が名簿の電子データを破棄したとしたのは5月の7日～9日、しかしサーバにはバックアップデータが最大8週間残されていたのです。にも関わらず5月21日に内閣府は」</p> <p>井野靖久氏（内閣府官房長官※当時）「もうすでに開催が終わりましたので破棄させていただいております」</p> <p>ナレーター「既に捨てた」と説明し、野党への資料提供を拒んでいました。なぜこんな答弁をしたのか？今日菅長官は」</p> <p>菅義偉氏（官房長官）「バックアップファイルは一般職員が業務に使用できるものではないことから、組織共用性を欠いており行政文書に該当しないという認識のもと適切に対応したものだと思っております」</p> <p>ナレーター「バックアップデータは一般の職員がアクセスできず、行政文書や公文書にはあたらなから国会議員にも提供する必要はないという理屈です。しかし、三宅弁護士は」</p>		

三宅氏「バックアップ用のデータとして皆で保存しているということからすれば組織共用文書という概念にあたると。電子データや紙媒体のデータを復元することができるわけですから、公文書管理法の公文書に該当するというのが普通の考え方だと思います。」

ナレーター「そもそもバックアップデータが行政文書や公文書にあたらないとしても、国会議員に提出してはいけない理由が何かあるのでしょうか？」

記者「国会議員からの資料要求に対しては、対象が行政文書であることを前提としていると、この前提というのは何に基づいているのですか？」

菅氏「まさに行政文書であることを前提として個別…行政文書でないものについては対応しないということだ、という風に思う」

ナレーター「要領を得ない答えに事務方からは差し紙が」

記者「対象を行政文書に限っている法律はないと思うのですが、何に基づいて運用しているのでしょうか？」

菅氏「政府が責任をもって対応するというのが行政文書」

ナレーター「厳しい質問が続く中、こんな場面も」

記者「バックアップデータが復元されたものは公文書になるのか」

菅氏「少々お待ちください。」

ナレーター「同席した官僚がその場でメモを書きます。」

菅氏「災害などの後に復元されたものは公文書になるということです。」

ナレーター「一方で招待者名簿は適切に廃棄されており、復元は想定されていないとしました。公文書管理法はその冒頭、公文書を「民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」と位置付けています。」

三宅氏「バックアップがあるのに文書がないというのは、公文書管理法を作った趣旨からは到底許されるものではないと考えています。これは本当に民主主義の根幹を支える重要な問題だと考えています。」

ナレーター「専門家も指摘した招待者名簿の廃棄、しかしきちんと残された名簿も見つけました。」

※オープニング

ナレーター「政府が廃棄したと言っている招待者名簿、実は丁寧に保管されていた時期もあります。鳩山一郎氏が総理大臣だった 1956 年、安倍総理の祖父岸信介氏が総理大臣だった 1957 年、この 2 年分は保管・公開されています。名簿には招待者全員の名前と肩書が、国会議員や裁判所長官、様々な団体のトップなどが招待されていました。1956 年の資料にはこんな注意書きも足されていました。「なお人選にあたっては同一人が連続して招待を受けることのないように」招待者の重複を避けるために名簿の保管は必要であり、これらの名簿の保存期間は永久とされていました。更に招待されるべき理由についても明確にわかる資料が残っていました。46 年前の内閣官房の推薦者名簿には、「推薦理由：新生活運動協会事務局長として、本運動推進のために献身的な努力をしてきた」こうした資料により、功労や功績がある人が推薦されていたことがわかります。名誉であるはずの桜を見る会への招待、去年 4 月以降、名簿は 1 年未満で破棄されることになりました、三宅弁護士は森友学園問題で財務省が決裁文書を改ざんしたり廃棄したりした教訓が生かされていないとしています。」

三宅氏「(行政文書管理) ガイドラインを変えて、行政文書・公文書の在り方を見直した。その教訓が生かされていない。それが適正に運用されないと公文書管理法のなかった時代に逆戻りするのですごく心配です。」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「残されていました「桜を見る会」の推薦者名簿を見ると、名前だけではなく推薦者理由まで丁寧に記載されていたり、招待者名簿の保存期間が永久とされていたり、当時の官僚のち密な仕事ぶりがかうかがえるような気がしますね」

星キャスター「かつては矜持という言葉に相応しい官僚も多くいたのですが、今回の動きを見ますと官僚の矜持とは何処に行ってしまったのだろうかという気がしますし、一連の質疑の中で内閣府の官僚の答弁で明らかに嘘をついているのがわかるものもありますよね。憲法では公務員は全体の奉仕者であり、一部の奉仕者ではないと書かれているのですが、今回の官僚の動きを見るに全体の奉仕者ではなく、安倍政権の奉仕者になっていることは明らかな動きだと思います。今回は官僚の劣化ということを曝け出したことだと思いますね」

小川キャスター「こうした言い訳をするために官僚になられたわけでは当然ないわけで、律していただきたいのですが」

このトピックに当てられた時間は 491 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・経済対策→結論：問題なし

ナレーター「政府は災害からの復興や景気対策などを盛り込んだ国と地方の財政支出が 13 兆 2000 億円に上る経済対策を閣議決定しました。経済対策には河川の堤防などのインフラ強化や小中学校で 1 人 1 台パソコンを使える環境の整備、マイナンバーカードの所有者を対象としたポイント還元などが盛り込まれました。民間からの支出も含めた事業規模は 26 兆円程度になります」

このトピックに当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

■「桜を見る会」をめぐる諸疑惑

原版が破棄された「桜を見る会」の招待者名簿のバックアップデータが、公文書管理法にて定義される公文書に当たるか否かという議論が繰り返されていたが、

個人情報保護の観点からすると、利用目的を果たしたデータを速やかに廃棄するのは「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」の趣旨からすれば適切な対応であるので、内閣府の側に当該データを廃棄するという明確な意思がある以上、たとえバックアップデータという形でサーバ上に残存していたとしても公文書の形態では存在しないと考える方が適当なのではないだろうか。

もちろん、検証者は本件における政府の対応が適切と考えているわけではない。当該データを廃棄した時期等を考慮すると、責任回避のため意図的に廃棄したと考えざるを得ない。このように政府の対応に問題があることは明らかなのだが、真に問うべきなのは、バックアップデータが公文書か否かという法解釈のテクニカルな問題ではなく、納税者に対する説明責任の観点ならびに公文書管理法の趣旨との適合性といった観点から、保存期限を含めて当該データの保存の在り方が適切だったかどうかという問題ではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月6日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、議員歳費、野党再編		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に真冬の寒さ、あす関東平野部で雪も ・東名あおり事故 東京高裁「手続き違法」裁判やり直しへ ・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑 ・議員歳費 ・麻薬取締法違反で逮捕の沢尻エリカ被告保釈 ・アフガンで銃撃死の中村哲医師 妻と長女が遺体と対面 ・ノーベル化学賞吉野彰さん ノーベル博物館での行事に出席 ・神奈川県庁文書流出事件 転売に関わった社員を事情聴取 ・沖縄 照明弾が落下 米軍が訓練で使用していたもの ・野党再編 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑→結論：問題なし <p>小川キャスターの「続いては総理主催の「桜を見る会」をめぐる問題です。マルチ商法を展開していたジャパンライフの会長がなぜ招待されたのか。これまでの政界とジャパンライフと関係を紐解いていきますと、安倍総理との意外なところでの接点が見えてきました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「ジャパンライフの山口元会長に届けられたとされる「桜を見る会」の招待状、野党は総理との関係についてこう主張しました」</p> <p>黒岩宇洋氏（衆院議員、立憲民主党）「親子2代、家族ぐるみでの付き合いがジャパンライフの山口元会長とあったのではないかと」</p> <p>ナレーター「父親の安倍晋太郎氏の時代から付き合いがあるのでは？というのです。話は1980年代の中曽根政権時代に遡ります。当時急成長を続けていたジャパンライフ、羽毛布団のマルチまがい商法が既に社会問題化していました」</p> <p>相川孝氏（ジャパンライフ社長※当時）「関係省庁からご指導いただいているような恐れのある販売行為は一切するなど」</p> <p>ナレーター「この時、国会で追及されたのが中曽根総理への1000万円の献金です。」</p> <p>中曽根康弘氏（首相※当時）「善意の政治資金として受け付けた。多少なりともそういうことがあったことは甚だ遺憾。」</p>		

ナレーター「さらに追及の矛先は安倍総理の父親・安倍晋太郎外務大臣（当時）にも」

松浦利尚氏（衆院議員※当時、社会党）「山口会長と共にニューヨークを表敬訪問しておると、ご記憶ですか外務大臣」

ナレーター「1987年、ニューヨーク外遊の場にジャパンライフの山口元会長がいたのでは？というのです」

安倍晋太郎氏（外相※当時）「ちょうど私が国連に行っておった時に紹介とありますが、おられたことは事実です。」

ナレーター「当時、晋太郎氏の秘書官を務めていた安倍総理（安倍晋三）もこの場にいたのではないかと野党が外務省に確かめると」

外務省担当者「名簿に当時外務大臣秘書官だった安倍総理の名前が記載されております。」

ナレーター「父親と名簿に記された安倍晋三の名前、総理自身も山口元会長と面識があったのでしょうか？総理は4日前」

吉田忠智氏（参院議員、社民党）「ジャパンライフの山口元会長と面識がおありでしょうか？」

安倍晋三氏（首相）「私が招待された多人数の会合等の場で同席していた可能性までは否定しませんが、山口氏と1対1のような形でお会いしたことは無く、個人的な関係は一切ありません」

ナレーター「個人的な関係はないとしながら、含みを持たせました。野党はジャパンライフが社会問題化していたことを総理は知っていたはずだと追及します」

山井和則氏（衆院議員、立国社会派）「なのに、なぜ2015年に総理枠で呼ばれたのか？山口元会長を審査して功労功績のある人だと政府は認めたということですか？」

内閣官房担当者「当時の記録が残っていませんので、そこは分かりかねます」

ナレーター「国会の会期末が迫る中、野党は総理自身による説明を求め続けています」

このトピックに当てられた時間は238秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・議員歳費→結論：問題なし

小川キャスターの「一方、この方たちも説明がないままこのまま雲隠れを続けるのでしょうか。」、および山本キャスターの「国会は週明け月曜日に会期末を迎える予定です。そんななか1か月以上にわたって国会に全く姿を見せていない議員が3人います。菅原前経産大臣に河井前法務大臣、そして妻の河井案里参院議員です。いずれも疑惑が指摘されている人物です。」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレーター「3人は今どこで何をしているのでしょうか？」

安住淳氏（立憲民主党国対委員長）「姿形が見えないというよりも行方不明だから捜索願い出した方がいいかなど」

ナレーター「こんな皮肉を言われているのが3人の国会議員です」

菅原一秀氏（前経産相）「安倍総理に辞表を提出して参りました」

ナレーター「菅原一秀前経済産業大臣、秘書が選挙区内の通夜に参列し香典を渡していたことが問題となり辞任しました」

河井克行氏（前法相）「法務、検察に対する国民の信頼を守るために、私は法務大臣を辞めます」

ナレーター「河井克行前法務大臣、妻の案里参院議員の選挙違反の疑いが浮上り辞任、上限を超える額の報酬

をウグイス嬢に支払っていたとされます」

ナレーター「3人は10月下旬以降、国会を欠席しいわば雲隠れ状態です。辞任の際こんな約束をしていたはずですが」

菅原氏「事実関係をよく確認いたしまして説明責任を果たしていきたい」

河井克氏「調査をして説明責任を果たしていく決意であります」

ナレーター「河井氏の地元・広島では怒りの声が挙がっています。市民団体が手に持っているのは河井夫妻の似顔絵。先週説明責任を求める集会が行われました。」

集会の参加者「わしゃ河井をずっと応援してきたが、一体どういうことなんか説明せえよ。おかしいのう、法務大臣になって良かったのうと思ったけど、こりゃどういうことじゃ」

ナレーター「特に河井案里議員は、広島県議会議員時代に「政治とカネ」をめぐる疑惑があった当時の知事を追及しています。」

河井案里氏（広島県議※当時）「男らしくなさいよ。私がもし広島県知事だったらおそらく辞職をしています。男らしくしなさい。」

ナレーター「しかし、今日になって案里議員の動向が明らかになりました。」

世耕弘成氏（自民党参院幹事長）「体調を崩して自宅において更に1か月ほどの療養が必要ということになっております。本人の了解を受けて病名を申し上げますが「適応障害」ということであります」

ナレーター「一方、河井前法務大臣の事務所を訪ねると」

小林康秀氏（記者）「事務所関係者、スタッフが対応してくれました。説明の時期やいま河井衆院議員がどこにいるかについては「わからない」としか回答できないと」

ナレーター「菅原前経産大臣については、本人の携帯電話に直接連絡しましたが出ませんでした。国会を欠席している3人には今月いくら支払われるのでしょうか。給与にあたる歳費が1人129万4000円、そこに交通費などで100万円、そしてボーナスに当たる期末手当が最大320万円加算され、総額420万から550万にもなります。」

安住氏「歳費返納した方がいいんじゃないですか。言いたくないけど歳費泥棒になってしまう」

ナレーター「本人たちからいつ説明が聞けるのでしょうか」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

小川キャスター「お三方ともそれぞれ説明責任を果たすという約束をしたはずですが、1か月以上経ちますが説明がない、どころか国会にも姿を現さないと。議員としての仕事をしていなくても歳費は必ず税金から払われ続けることですよ。これってあって良いことなのでしょうか？」

星キャスター「3人とも、記者会見や国会に出てきて説明をする責任があると思いますし、いまそれができないので国会を休んでいるという状況ですよ。そうすると国会議員としての務めが果たせないわけですから、それであれば国会議員を辞めるのが筋だと思いますね。安倍総理も二階幹事長も、説明するのか、議員辞職するのかと迫るのも上司としての仕事だと思いますね。」

小川キャスター「責任があるわけですよ。その安倍総理は「桜を見る会」の自身の説明責任が問われているわけですが、ジャパンライフの元会長とは個人的な関係は一切ないと答弁していました。それがもし本当なのであれば、なぜ関係のない人物が総理枠とみられるような枠で招待されたのか、ご自身で疑問に思って調べないの

かなと思いましたが」

星キャスター「いまはっきりしているのは、15年の「桜を見る会」に総理枠で山口元会長が招待されたと。その招待状をもとにマルチの勧誘が行われ被害者が出たと。誰が推薦したのか、安倍総理が調べればすぐ分かるはずなので、安倍総理の責任で経緯を調べてほしいですね。」

このトピックに当てられた時間は 378 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・野党再編→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

枝野幸男氏（立憲民主党代表）「共同会派を共にさせていただいている政党・グループの皆さんに、幅広く立憲民主党と共に行動していただきたい。」

ナレーター「立憲民主党の枝野代表は、統一会派を組む国民民主党の玉木代表や社民党の又市党首らと会談し、党の合流について協議を呼び掛けました。これに対し玉木氏は「大きな塊を作るという方向性は一致している」とした上で、対等な立場での協議を訴えました。」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「違いやわだかまりを超えていけるかどうか見えないところもありますが、一つの大きな塊へと結集していくのでしょうか？」

星キャスター「今日起きたことは、立憲にみんな入ってくださいと枝野さんが呼び掛けたようなことなんですね。一つステップ進んだということですが、国民の方は若手の方はこのさい立憲に入ろうという人が増えてきているのですが、玉木さんは対等合併でいきたいと拘っていて、ただ塊にならないと自民党には太刀打ちできないわけで年内には方向が出てくると思いますね」

このトピックに当てられた時間は 62 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

■議員歳費

放送時間 15 分 47 秒から 16 分 23 秒（いずれも検証者計測）にわたり、河井案里参院議員の公職選挙法違反疑惑に対する地元広島県民の怒りの声として、市民団体による河井氏に説明責任を求める集会の様子が取り上げられていたが、この集会で掲げられていた「河井前法相・あんり議員は真相を明らかにせよ」との横断幕の右下には、今夏の参議院通常選挙において河井氏の対抗馬であった森本真治氏（無所属）の選対に関与していた「広島 3 区市民連合」とはっきりと記されており、元々河井氏ならびに自民党の地方組織と対立関係にある団体の主導により開催されていることが容易に想像できる。

彼らの主張を額面通りに信じることは避けるべきであろう。